

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部医療人育成支援センターでは、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：リハビリテーション室で実施した救急蘇生シミュレーション教育効果の検討

1. 研究の概要

安全な医療を提供するためには、多職種が連携し、絶え間ない医療を提供していくことが必要です。急性期病院においては、患者さんの重症度にかかわらず、多様な急変事例が発生するリスクが考えられます。したがって、所属部署内での多様な状況を想定した事例検討や対策を講じることが重要です。特に急性期病院のリハビリテーション室における急変事例では、機能回復速度が急上昇する時期であり、理学療法の効果も期待できる反面、十分なリスク管理が必要であることが示されています。一部の報告では、急性期の患者を対象とした理学療法士の一次救命処置（Basic Life Support: BLS）に関する認識が、回復期や慢性期と比べて有意に高く、学習意欲も高いことが報告されています。さらに、BLSを学習しやすい環境づくりの重要性が指摘されています。そのため、急変事例を想定した救急蘇生に関する教育は、急性期病院のリハビリテーションに関わる職種に対して、特に重要となります。

宮崎大学医学部附属病院は急性期病院であり、2012年10月より、全職員を対象にBLS研修会を継続して開催し、BLSを学習する機会が設けられています。

このような状況の中、2018年度より、各部署に即した急変事例への対処行動の修得に向けて、医療人育成支援センターと看護部が共同し、病棟単位のシミュレーション教育を開始しました。また、当院は、リハビリテーション部を有しており、整形外科病棟の看護師がリハビリテーション室看護師として勤務しています。今回は、多職種連携の向上を目指す中、まずは、リハビリテーション部の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を対象とした救急蘇生シミュレーション教育を行いました。研修の評価方法として、救急蘇生技術評価表により評価し、同時に、参加者全員に対しては、研修の企画運営や救急蘇生技術の理解に関する自己評価、および、研修への要望を記載してもらうようアンケートを実施しました。

そこで、本研究では、アンケート結果を分析することにより、シミュレーション教育の効果を明らかにすることを目的としています。分析結果から、今後のさらなる効果的なシミュレーション教育の運営に向けて示唆を得ることができると考えています。

2. 目的

本研究は、リハビリテーション部の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を対象としたシミュレーション教育(救急蘇生研修会)の効果を明らかにすることが目的です。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2020年12月まで行われます。

4. 対象者

2019年1月10日に宮崎大学医学部医療人育成支援センターが支援したリハビリテーション部における救急蘇生の研修会を受講した方が対象となります。

5. 方法

対象となる方に記載いただいたアンケートを利用させて頂き、これらの情報をもとにシミュレーション教育効果を分析し、シミュレーション教育の有用性を検討します。

本研究で使用する資料・情報は記載いただいたアンケートとなります。宮崎大学医学部医療人育成支援センター助教の釋迦野陽子が情報の管理者として、情報管理を行います。

6．費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7．利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

9．研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10．研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する医療人育成支援センター看護実践部門の法人運営費で実施します。この研究では利益相反は発生しません。

11．研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先

本研究は無記名調査のため、途中辞退することができません。しかし、参加拒否に関しての問い合わせは下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問や質問があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部医療人育成支援センター

助教 釋迦野陽子

電話：0985-85-8305

FAX：0985-85-7239